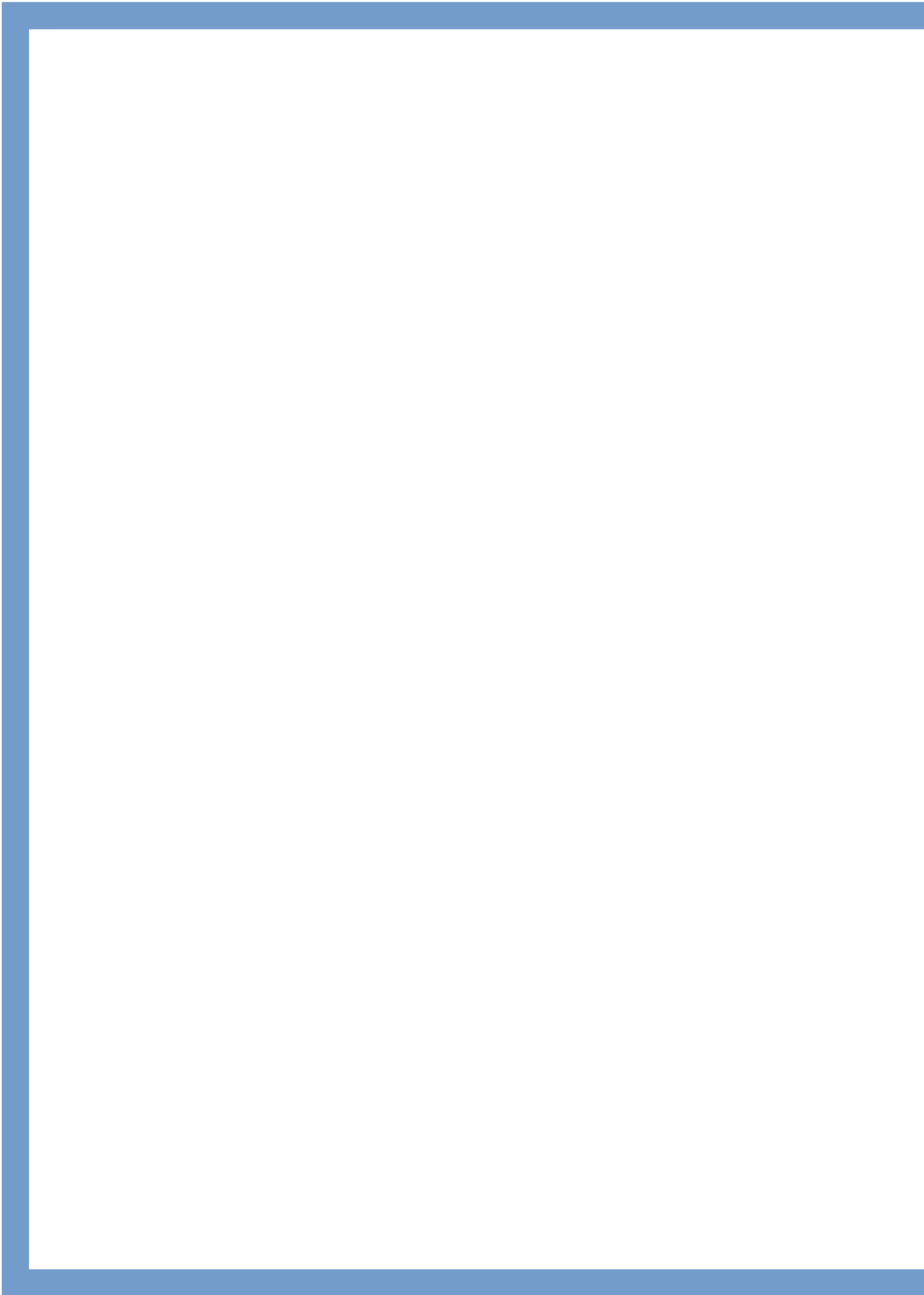


魔法界の建設計画が絶対的拒絶を出してほしくない」という条件を出したところ、意外にもすんなりと受け入れられてしまったので断れなくなった。そして、作業を始めるために IHI の歴史を調べ、社内の人たちと対話を重ねていく





を聞いてみた。

「目をつぶると世界は自分の目の前から消えるじゃないですか。最近ぼくが思っていることは、目をつぶっても世界は存在すると信じられる何かを作りたい

---

---

---